横須賀で記録されたリュウキュウムラサキ

Hypolimnas bolina philippensis BUTLER

赤穂敞也

リュウキュウムラサキはタテハチョウ科に属する熱帯性の美しい蝶であるが、日本では九州(鹿児島、宮崎、熊本、長崎、福岡の各県下及び対島)四国(高知)本州(静岡、和歌山、愛知、青森の各県下)の各地で数例採集されただけの極めて珍らしい蝶である。

1957年9月15日横須賀市吉倉町にて三浦高校、生物部員伊藤利勝君によって採集された熱帯蝶は九州大学教授白水隆博士によってリュウキュウムラサキ舎であると同定された。これは三浦半島では勿論、神奈川県下においても最初の記録である。

伊藤君の記録は次の通りである。

採集日 1957年9月15日 午後2時

天候 晴

採集場所 横須賀市吉倉町

開 張 87mm 性別 合

本種は迷蝶、偶発蝶としてその出現の過程はつまびらかでないが最も主因として想像されるのは 台風によって運ばれるのではないかということである。

今回の採集例についても数日前に台風10号が西日本を通過しており丁度同じ日の9月15日に浜松市の防風林で斎藤偏理氏によって同じくリュウキュウムラサキが採集されている。原産地琉球、台湾では平地に普通の蝶で飛翔は緩慢、年中採集出来るといわれている。

本標本は伊藤君の寄贈により横須賀市博物館に所蔵されている。

本稿を草するに当って同定及び種々御教示を頂いた九州大学自水隆教授、種々の労をとられた横 須賀市博物館学芸員補柴田敏隆氏及び写真撮影に御協力下さった長浜善夫医学博士に厚く御礼申し 上げる。

参考文献

日本昆虫図鑑

1954. P.923 北隆館

横山光夫

1955. 原色日本蝶類図鑑 P.39 保育社

田 中 佐 一 1957.

「アオタテハモドキ」と「リュウキュウムラサキ」の採集、新昆虫10(12)34

Résumé

New Record of Tropical Butterfly, Hypolimnas bolina philippensis Butler, in Yokosuka.

(With 2 Text-figures)

Hisaya AKO*

A tropical butterfly was caught by Mr. Toshiyuki Ito at Yoshikura, Yokosuka City on 15 September, 1957.

^{*} Miura High School, Yokosuka.

It was identified as *Hypolimnas bolina philippensis* Butler by Dr. Takashi Shiramizu of Kyushu University.

This species is primarily found in subtropical regions, such as Okinawa and Formosa. In Japan, this species is occasionally found in the Kyushu area and has also been infrequently noted in both the Shikoku and southern Honshu areas.

This is the first instance, however, that it has ever been discovered in Kanagawa Prefecture.

The male specimen was obtained on the day following typhoon No. 10, whose course had passed over western Honshu and whose winds had not entirely expired. Another specimen of the same species was obtained by Mr. Henri S_{AITO} in Hamamatsu City, Shizuoka Prefecture; doubtlessly both specimens had been carried by the typhoon.



Fig. 1. Hypolimnas bolina philippensis & (Surface) リュウキュウムラサキ雄の表面



Fig. 2. *rypoumnas bouna phuippensis* 8 (Under side) リュウキュウムラサキの裏面